

山脈のかなたに

やま
なみ

桜咲く 山脈の向こう神岡の

桜となりて 君は散りしか

華やぎの 舞台に並ぶ竹一族

君は居ませず 音の哀しき

山脈の かなたに今年も花咲くや

逝きて三歳 涙乾かぬ

その時が 近づきつゝあることを

その時 人は知らざりしけり

ひたぐれないの 命輝きし 青春の日々を

友と語りおらんや 彼岸の世にて